

JUNE 5, 1919. NO. 7023

The Japanese American News

日五月六年八正大 號三十二千七第 (木)

日本

南北和平と

支那民國の財政

急派し、北方代表者首脳朱啓鈞

其の圓滿な進歩を際得せられ

支那が革命亂勃發せるの動

機は滅満興滅の爲めにして、彼

れ一舉にして清朝を顛覆せるも

其後南北は常に紛糾の渦中に投

じ、北方は袁世凱當時より武斷

事實に於て南方と相觸せざる

事実に耳に

北洋

事務所

全米國の爆發事件

人類幸福の道、資本特權破壊

財源は之を過激派本部に仰ぐ

激烈なる社會戰

よりどし既に其の

準備に着手

セモト云

より果して如何なる手段方法に

出づべきやは未だ之を發表せ

す殊に右運動最も激烈を極め

つまほしは

ヨーロッパ

感後世界を通じ労働問題の過渡期をなし社會は爲めに不安に充ちたる動搖をなしつゝあるが最近米國に於ける労働界過激派に屬する一派の行動は益々陥り惡いとなり遂に節制なり

▼爆彈暴動

走人心理ために胸々途に警報部隊を惹起し重なる政府當事者を初め各地富豪の襲撃する者絶え大活動を起すに至り米國前線密探偵主任フリン氏は直接同事件解決の任に訴へ爆彈を使用する

に當れりと云ふ一方ボルセヴィキの首領は聲明をなし「吾人の運動は從來の如き継続する者絶えを草め更に急激なる運動の開始を要す」と稱しこれまで採用し來る出版物の配布及び個人的傳道を掛けて斯くは急進的手段に訴へ爆彈を使用する

▲直接同事件解決の任に於て斯くは急進的手段を採用するに至れりと云ふ一方ボルセヴィキの首領は聲明をなし「吾人の運動は從來の如き継続する者絶えを草め更に急激なる運動の開始を要す」と稱しこれまで採用し來る出版物の配布及び個人的傳道を掛けて斯くは急進的手段に訴へ爆彈を使用する

に當れりと云ふ一方ボルセヴィキの首領は聲明をなし「吾人の運動は從來の如き継続する者絶えを草め更に急激なる運動の開始を要す」と稱しこれまで採用し來る出版物の配布及び個人的傳道を掛けて斯くは急進的手段に訴へ爆彈を使用する

市俄古を中心としてオハヨー州ミシガン州に其の危険を甚だしく示し來る事無くは新傾向にして西部太平洋の該地方にも亦自出で更に甚だしき運動を見んこせりあるボルセヴィキ派、無政府主義者あり事務ありとは

▼東部諸州

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

▼運動費財源

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

▼日本向鐵材

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

▼農業費下院通過

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

▼洋服洗濯所

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

▼要求欄

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

▼臺灣銀行

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

▼臺灣銀行

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

▼臺灣銀行

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

ヨーロッパ

▲双方共も自派優勢
羅府市長の本選舉は愈々三

▲本朝は才媛にて御所に仕へて、
マツコサメント二階[川浪氏]の間
より出火し三室及び屋根
守其の眞相を報せん

號室に押し寄せたるも内部よりタックしあるに引途にアーチを破り立つて入口ドア一歩を破り立つて室内の火にて如何ともならぬ得心しらし寝につき居る筋の如きを石と敷ひ出さんと黒煙の中を走りぬしも見當らず外部よりは盛んに窓越しに消火に勉め居る内蔵防夫の來り先づ火災の方は全焼を免れたるもの室内の白石に一同心痛し巡回消防夫に応援し室中よりマトレレス其他を放り出しやうにマトレレスに生々しき血の明る着し居るを發見して一同言ひ合つたる如く的切り燃死し居るとの鎮火を待て燒躊躇を調へしも死體は（或はワインより飛び下り逃れたるにはあらゆり屋根内とのラス・ハウスマ内隠なく調へしも之又發見し得ず何れも白石の行衛に不審を抱くに至りたれど折りしもラス・ハウスマ内より芳閑のうなり一聲聞れば見るにぞ同其の所處を檢めしに白石は木棚の下にあぐり込み然かも等利なる割刀にて咽喉を切断し白殺を企てる事判明する次第にして尚は同人は先づ室内に放火し夫れより自殺し一擊火葬まで企てたるものらしく始めて出

工開業せり

次第
●今年の初暑 日曜日以來暑氣
の襲ひ來りたる由は既報の如く
なるが二日の温度は九十五度に
して今年の初暑氣にて尚ほ三日
一昨朝上等裁判所判事セーラム
スカインの法廷に現はれた當年

小教員會議

尋人廣告

●交換技術を至第一回
三七▼ヤ店伊藤牧田王府第九街四五
新開業の王府寫真館
近代的王府第十

真館 Tel. 1541
五街五六一

田中診察所
(電話 壱壹壹-11)
San Pedro St., L. A.
常加日本病院
227 605 Turner St., L. A.

布市イ街九三五
電話メーン一二一三

• 100 •

（本件は、前回の「京都同志」に引き続き、その二週間後である。）

新刊書籍
東一街三
港 郵函二六六 電話
佐藤洋 沿岸
電話 ポリス六五五
ast Fish Co., P. O. Box
新刊書籍
東一街三
港 郵函二六六 電話
佐藤洋 沿岸
電話 ポリス六五五

店前日半價以上



青々園生作

(一〇三)

小梅が承認したといふ事を千助が報告する。山村は直ぐに作や書類の手入をする。それ新道へ進つて来た、うろちで急いで小梅を連れて大川屋へ。大急ぎで小梅を連れて大川屋へ。大急ぎで小梅を連れて大川屋へ。大急ぎで小梅を連れて大川屋へ。

販賣家を見出かけた、それは小梅の梅の字を取つた「梅月」。その氣が變らぬうちに早く一切の手續を済ませる。其の家の可成り手廣くて、造作も立派であったが、小梅に取扱いを許す。居た新橋、そのはかに柳橋まで、芳町と三ヶ所の眼早い藝者をして父さんは何うなつたの。千助は女房に新橋の藝者屋へ。だから金さへ旦那から受け取れば、其の開業の晩には、日那の山のそれが景氣になつたばかりで、山の頭と、小梅への義理で、二日目からも入り代り立派に掲げにして全盛遊びをする。其の開業の晩には、日那の山の開きに心附いたと思つたが、店舗の中に、あんな宜い旦那が、や大聲で探つたつてありやしませんよ。

「全くです、よ、た客だ。だが、なんだから、お互に忙しい眼をし

ても、張合ひがあるといふもの

山村の旦那の氣の前のいゝには恐い事だ。

「それでも、御客さん、お互に忙しい眼をし

れる事だ。此の世智辛い事だ。

「そりや宜かつたね、有難い事だ。

には、御客さんの種が昔いゝも

んだから、お互に忙しい眼をし

れる事だ。此の世智辛い事だ。

「なんだから、お互に忙しい眼をし

れる事だ。此の世智辛い事だ。

「なんだから、お互に忙しい眼をし